

# 改修設計業務委託料計算書

(改修設計業務を委託する場合)

委託業務の名称 城中教員住宅改修工事実施設計委託業務

設計委託料 一金 円也  
 [設計価格] 一金 円也

K(設計委託料)	=	Y	+J	=	
J(消費税相当額)	=	Y	×	0.1	=
Y(設計価格)	=	(A	+B	+C	)
			+D	=	

A 直接人件費	=	(計算書2)	B 諸経費	=	(計算書2)
	=	0		=	0
C 技術料等経費	=	(計算書2)			
	=	0			
D 特別経費		200,510	+	108,000	= 308,510
出張旅費		100,255	×	2	= 200,510
その他の特別経費		108,000			

## ① 一般業務に係る業務人・時間数

(イ) 建築改修工事分の設計に必要となる図面1枚毎の業務人・時間数

$$(\text{業務人・時間数}) = 12.540 \times (\text{図面1枚毎の換算図面枚数})$$

(ロ) 設備改修工事分の設計に必要となる図面1枚毎の業務人・時間数

$$(\text{業務人・時間数}) = 9.357 \times (\text{図面1枚毎の換算図面枚数})$$

「図面1枚毎の換算図面枚数」は、図面目録に掲げられた図面1枚毎に、次式により算定する。ただし、平均的な改修工事の設計と比較して難易度に著しく差が生じる場合は、実情に応じて補正することができるものとする。

$$(\text{図面1枚毎の換算図面枚数}) = 1 \times (\text{複雑度}) \\ \times (\text{CADデータの提供等により業務量低減が図られる場合の影響度})$$

② 追加業務に係る業務人・時間数 (別表1-5)

③ 直接人件費単価 (別表1-6)

④ 技術料等経費率 (通常の場合は0.15以下とする。)  
 (簡単なセミトレース程度の設計又は変更設計の場合は0とする。)

$$\begin{aligned}
 A(\text{直接人件費}) &= \{ \Sigma \textcircled{1} + \textcircled{2} \} \times \textcircled{3} \\
 &= \{ (\Sigma a(i) \times 12.540 + \Sigma f(i) \times 9.375) + \textcircled{2} \} \times \textcircled{3} \\
 &= \{ (\Sigma \text{建築(イ)} + \Sigma \text{設備(ロ)}) + \textcircled{2} \} \times \textcircled{3}
 \end{aligned}$$

(A,  $\Sigma$ 建築(イ),  $\Sigma$ 設備(ロ)及び $\textcircled{2}$ は, 小数点以下切り捨て)

$$\{ 85 + 39 \} \times 5,312.5 =$$


---

$$B(\text{諸経費}) = A \times 1.1 \quad (\text{小数点以下切り捨て})$$

$$\times 1.1 =$$


---

$$C1(\text{技術料等経費}) = (A+B) \times \textcircled{4} \quad (\text{小数点以下切り捨て})$$

$$0 \times 0.15 =$$


---

$$Y(\text{設計価格}) = (A+B+C1) + D \quad (\text{千円止め})$$

$$(0 + 0 + 0) + =$$


---

$$J(\text{消費税}) = Y \times 0.1$$

$$0 \times 0.1 =$$


---

$$K(\text{設計委託料}) = Y + J$$

$$0 + 0 =$$


---

$$C(\text{技術料等経費}) = Y - (A+B) - D$$

$$0 - (0 + 0) - =$$


---

別添表-2

図面目録（建築）

事項	図面名	枚数	
意匠	特記仕様書	特記仕様書 N=枚数(県が提供する特記仕様書を除く)	
	一般図	表紙図面リスト	N=枚数
		外部仕上表	N=枚数
		内部仕上表	N=枚数
		配置図	N=枚数(配置図, 面積表, 見取図で1枚)
		平面図	N=枚数
		立面図	N=枚数
		天井伏図	N=枚数
		断面図	N=枚数
		展開図	N=枚数
		建具	N=枚数
		外構図	N=枚数
		外壁等調査図	N=枚数
		詳細図	矩計図
	平面詳細図		N=枚数
	各部詳細図		N=枚数
構造	特記仕様書	特記仕様書 N=枚数	
	構造図	躯体・軸組図	N=枚数
		伏図	N=枚数
		耐震壁	N=枚数
小計			

簡易	標準	複雑	CAD低減
			0.7
			0.5
1			0.5
1			0.5
1			0.5
	1		1.0
			0.5
			0.7
			0.7
	1		1.0
	1		1.0
			0.7
1			0.5
			0.5
	1		1.0
			0.5
			0.7
			0.7
			0.7
			0.7
			0.7
4	4	0	

図面目録（設備）

事項	図面名	枚数	
設備	電気設備	特記仕様書	N=枚数
		配置図	N=枚数
		結線図(高圧・盤)	N=枚数
		照明器具姿図	N=枚数
		幹線設備系統図	N=枚数
		電灯設備平面図	N=枚数
		コンセント設備平面図	N=枚数
		弱電設備平面図	N=枚数
		自火報設備平面図	N=枚数
		EV関係図	N=枚数
	衛生設備	特記仕様書	N=枚数
		見取図配置図	N=枚数
		系統・器具明細表	N=枚数
		平面図	N=枚数
		平面詳細図	N=枚数
		浄化槽関係図	N=枚数
	空調・換気設備	配置図	N=枚数
		系統・機器表	N=枚数
		平面図	N=枚数
		平面詳細図	N=枚数
	小計		

簡易	標準	複雑	CAD低減
			0.7
			0.5
			0.7
	1		0.5
			0.7
	1		0.5
			0.7
			0.7
			0.7
			0.7
			0.7
			0.7
			0.7
			0.7
			0.7
			0.7
			0.7
			0.7
			0.7
			0.7
0	4	0	

※ N=枚数:実体に応じ積み上げて積算する。  
 ※ 必要に応じて、図面名は追加及び削除を行うことができるものとする。

建築				
低減率	1	0.7	0.5	合計
簡易	0	0	4	4
標準	4	0	0	4
複雑	0	0	0	0

設備				
低減率	1	0.7	0.5	合計
簡易	0	0	0	0
標準	0	1	3	4
複雑	0	0	0	0

CADデータ提供による低減率

記号	提供の度合い	低減率	目安
1	提供無し	1	一切CADデータを提供しないもの
0.7	中	0.7	参考となるCADデータが提供出来るもの
0.5	大	0.5	参考となるCADデータ、もしくは既存のPDFデータ等が提供でき、かつ簡易な書き込みを行う程度のもの